

# BEA VOICE

## SOA

SPECIAL OTHERS ACOUSTIC

SPECIAL OTHERS ACOUSTIC、始動！  
進化するアコースティック編成とバンド論。

LIVE SPECIAL OTHERS ACOUSTIC

2nd ALBUM『Telepathy』Release Tour 2018

6.1 FRI 長崎県美術館エントランスロビー

6.2 SAT 電気ビルみらいホール(福岡)



# 05

No.468 May 2018  
The music magazine  
that charms you.

### INTERVIEW

石崎ひゅーい ピリオドの、その先へ。  
第二章へ突入するひゅーいの新たな一歩。

板野友美 旅の中で見つめた“自分らしさ”とは…。

森恵 自分の中で吸収してきた最高の音楽を届けます。

コアラモード. 「ろ過を重ねた洗練感」、  
「麗しく爽やか」なアルバムができました!

SA/クアイフ

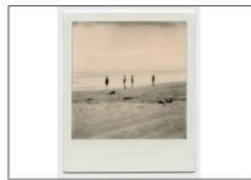




三浦大知

自身のヴォーカル×ダンスの可能性を追求する三浦大知と、稀代の音楽家・Nao'ymtによる実験的かつ未体験のプロジェクトが始動!6/27発売のアルバム『球体』と連動した“完全独演”公演が決定!

>6/1(金)福岡サンパレスホテル&ホール



THE NOVEMBERS

新EP「TODAY」を5/16にリリース。タイトル曲ほか、メンバーが敬愛するL'Arc-en-Cielのカヴァー『Cradle』など、全4曲収録。5月中旬からはレコ発ツアーがスタート。

>6/12(火) the voodoo lounge



Attractions × PAELLAS

昨年秋のEPリリース以降、怒涛の快進撃を続けるAttractionsと、音楽シーンに止まらず各メディアから注目を集めるPAELLASの2マン!

>6/21(木) LIVE HOUSE FEVER [東京]  
>6/29(金) FUKUOKA BEAT STATION



リーガルリリー

今年ブレイクが期待される平均年齢20歳のガールズバンド。6/6発売のミニ・アルバム『the Teleph one』を引っさげ、初の全国ツアーを開催。福岡公演はゲストにtetoとドミコを迎えて。

>6/23(土) the voodoo lounge



ビーグルクルー

福岡在住のYASSとNARIからなるヴォーカルユニット。メジャー復帰第1弾となるニュー・シングル『My BROTHER』を5/16にリリース。6月末からは自身4度目のライブツアーを敢行。

>6/30(土) イムズホール



比花知春

福岡を拠点に活動するシンガーソングライター。音楽活動以外にも、バラエティ番組への出演やラジオパーソナリティ、雑誌、CMなどでも活躍中。3度目となるワンマンライブが決定。

>7/7(土) Gate's7



松田聖子

歌手・女優として、歌、映画、テレビドラマ、CMなどあらゆるジャンルで新しい挑戦を続ける現在進行形のトータルアーティスト、松田聖子。毎年恒例となった夏の全国ツアーで地元・福岡に帰ってくる!

>7/14(土) マリンメッセ福岡



GANG PARADE

新メンバーにハルナ・パッチーンと月ノウサギを迎え、9人体制での活動をスタートさせたGANG PARADEが、新アワーを公開!さらに7月から全国9カ所を巡る“REBUILD TOUR”を実施!

>7/22(日) DRUM Be-1



THE JAYWALK

'91年リリースのシングル『何も言えなくて...夏』が大ヒットを記録。以降、メンバーチェンジなど紆余曲折を経ながらも、良質な大人のポップスを提供し続けている。待望の福岡公演は昼・夜2回公演。

>8/12(日) Gate's7 [2回公演]



M.S.S Project

ニコニコ動画で活動するFB777、KIKKUN-MK-II、あるまほつと、eoheohの4人からなるゲーム実況・音楽制作ユニット。中二病全開のトークとハイテンションなパフォーマンスは必見!

>8/18(土) 福岡市民会館



LUKE 董

聖飢魔IIの構成員として活動後、'02年からはCANTAのヴォーカル&ギターとして多くのハードロック&メタルファンを魅了しているLUKE董が、ソロツアーを発表。超絶ギターテクは見逃し厳禁!

>8/26(日) DRUM LOGOS



青山テルマ

キュートな容姿を備えつつ、鮮明かつパワフル、そして感情豊かな歌声を絶妙にコントロールする実力派シンガー。7/25にリリースとなるニュー・アルバムを携え、全国5都市でライブ。

>8/27(月) イムズホール

水谷千重子

演歌界の重鎮、水谷千重子。幼少期は“北陸のひばり”と呼ばれ、その後、二葉菫仁に師事し『万博ササニシキ』でデビュー。『スコッチが、お好きでしょ』『ミスチエ・ルンバ』などヒット曲多数。そんな水谷千重子の“ありがとうコンサート”が、指宿&人吉で開催決定。地元の舞踏団体やキッズダンサーとともに贈りするスペシャルなステージ!

>7/15(日) 指宿市民会館 [鹿児島] >7/16(月・祝) 人吉カルチャーパレス [熊本]



山崎ハコ

少女性と孤独感が同居する独特の世界観で聴く者を魅了する、日本を代表する女性フォークシンガー。ギターリストの安田裕美を迎え、電気ビルみらいホールに登場。『織江の唄』など往年のナンバーに酔いしれたい。

>9/2(日) 電気ビルみらいホール



高橋真梨子

テレビ朝日系情報番組「ワイド!スクランブル」の新テーマ曲に新曲「逢いにゆくよ」を書き下ろした高橋真梨子。ツアーでのお披露目に期待大!

>10/6(土) アルモニーサンク北九州ソレイユホール  
>10/20(土), 21(日) 福岡サンパレスホテル&ホール



浜田麻里

ヘヴィメタルの女王、浜田麻里。デビュー35周年となる今年、夏にオリジナル・アルバム『Gracia』をリリース&レコ発ツアーを発表!突き抜けるハイテンションでオーディエンスを魅了する。

>10/19(金) DRUM LOGOS



スカイピース

登録者数150万人超えの超人気YouTuber。動画投稿だけでなく、歌やダンスなど活動の場を広げ、1stツアーは即日完売!11月1日からスタートする2ndツアーもチケット争奪戦が予想される!

>12/15(土) Zepp Fukuoka



ZIGGY

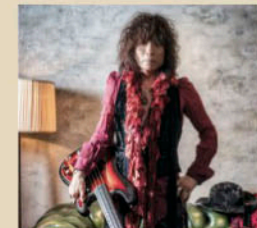
4月のライブツアーも記憶に新しいところだが、早くも次なるツアーが開催決定!11月より全国16カ所を駆け巡る。

>12/22(土) 熊本B.9 V2  
>12/23(日・祝) DRUM Be-1



Chage

Live Tour 2018 CRIMSON  
9月4日(火) 福岡電気ビルみらいホール



HEESEY

SOLO TOUR 2018 ~HEESEY A GO! GO!~  
5月27日(日) 福岡 DRUM SON



鶴

結成十五周年記念「ALL TIME CLASSICS—47都道府県大会—」  
11月25日(日) 熊本B.9 V3  
1月12日(土) 大分 DRUM Be-0  
1月13日(日) 宮崎 SR BOX  
1月14日(月・祝) 鹿児島 SRホール  
1月19日(土) 佐賀 ROCK RIDE  
1月20日(日) 長崎 DRUM Be-7  
3月3日(日) 福岡 DRUM SON



BUCK-TICK

6月24日(日) 福岡市民会館



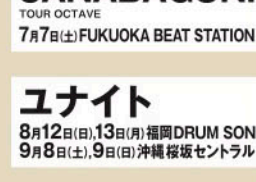
PELICAN FANCLUB

6月30日(土) 福岡 Queblick



The BONEZ

TOUR [Woke]  
6月30日(土) 熊本B.9 V1  
7月1日(日) 鹿児島 CAPARVOホール  
9月15日(土) 福岡 DRUM LOGOS



moumoon

6月17日(日) FUKUOKA BEAT STATION



ユナイト

8月12日(日), 13日(月) 福岡 DRUM SON  
9月8日(土), 9日(日) 沖縄 桜坂セントラル



内田真礼

6月17日(日) 福岡サンパレスホテル&ホール



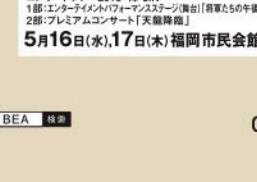
フェアリーズ

LIVE TOUR 2018 ~JUKEBOX~  
6月2日(土) 福岡 DRUM LOGOS



Creepy Nuts

6月29日(金) 熊本B.9 V2  
6月30日(土) 長崎 DRUM Be-7



石井竜也

コンサートツアー2018 単 独 単 独  
1部: エキサイトインストゥロメンタルライブ [豪華50名中継]  
2部: プレミアムコンサート [天龍降臨]  
5月16日(水), 17日(木) 福岡市民会館



10代から親しむスティーヴ・ライヒの手拍子の音楽「Clapping Music」を音に還元した「WOLF」のミュージックビデオは、ブラハの街並に導かれピースティ・ポイズのヒップホップに挑戦。芹澤は当初曲タイトルに違和感を持っていたが「映像がヒップホップ風になった瞬間、ヒップホップとこの曲の真ん中に入ったのがWOLFだった」と落ちついたそう。同曲はギター2本の体制。ライブではドラムの宮原がギターを弾きながらバスドラとハイハットを叩く!

### ブラハで撮影されミュージックビデオに注目!

「もう、言われるがままやりました(笑)」(宮原)。「STEADY」のミュージックビデオでは、哀愁漂う楽曲に合わせたデートシーンが盛りだくさん、メンバーが初の演技に挑戦している。今回の撮影の旅には原点回帰というお題があったそうだが、全員が初のブラハ。当然「全てが新鮮！」(柳下)。馴染みのないブラハでも「4人で音を出しているっていうことだと、それしかできないので、そこは原点というか、基本かな……」(又吉)。

# SOA

SPECIAL OTHERS ACOUSTIC

SPECIAL OTHERS ACOUSTIC、始動!  
進化するアコースティック編成とバンド論。

取材・文／古城久美子

**LIVE** SPECIAL OTHERS ACOUSTIC  
2nd ALBUM『Telepathy』Release Tour 2018  
6月1日(金) 長崎県美術館エントランスロビー  
6月2日(土) 電気ビルみらいホール(福岡)

※詳しくはBEA-NETをご覧ください。

昨年、斉藤和義やRIP SLYMEなどを迎えた「ラボ作品」『SPECIAL OTHERS II』を発表し、華やかなメジャー・デビュー10周年イヤーを駆け抜けたSPECIAL OTHERS(以下、スペアザ)。節目の年を終え、次なるディケイド、最初の一手は?なんとスペアザのメンバーによるアコースティック編成、SPECIAL OTHERS ACOUSTIC(以下、スペアC)名義での始動という。同名義で新人デビューして、14年「II」を発売して以来、約3年半ぶりとなる2ndアルバム『Telepathy』はいかに?

「10周年で「ラボ作品」も出したし、そのあとは、通常のSPECIAL OTHERSとしての作品を出して、新しくついたお客さんを刈り取りたいっていうのが普通の考え方だと思うんですけど。でも、我々も10年やってきて、刈り取るのかそういうことより、単純に今アコースティック編成がやりたいという気持ちがある」(宮原)。「やらされてやるのか、流行にのっかってやるのか、逆に時代に逆行してやるのかね、自己顕示欲の主張でものを作っているわけではない。その時4人で合わせてカッコいい音楽が一番だと思ってやっているから、俺らの音楽って色あせないんじゃないかな(芹澤)。「色あせないかどうかは俺らが決めることじゃないけどな(笑)」(柳下)。

「II」に入れ忘れていた(1?)曲やライブで披露していたスペアザの既存曲アコースティックバージョンなど、ストックも多く、フェスやイベントへのオフアームも続く中、さまざまなセットリストで対応できるような曲数を増やすという狙いも。「必然的にアコースティックに対するモチベーションは高くなつて、(スペアCの)アルバム制作に向かっ行って行きました」と柳下。新たにデビューする気持ちで臨んだ前作だっ

きました(宮原)。「しかもオーバーチャージなしでね(柳下)。「音楽でやっていきたかったら、みんな、バンドの経済にも優しい、このスタイルでやればいいよね。欧米で主流のヒップホップ解釈の、簡単にできる。にもはまっているし、ひとつの指針になるはず(芹澤)。「そういう意味ではアコースティックといながら、最新型!この編成完全に編み出したよね(宮原)とドヤ。

アルバムのタイトルは「Telepathy」。同名曲は宮原が曲つくりの際に、勝手に歌詞を付けて歌っていた「あなたと私のテレパシー」という言葉に芹澤が反応したことがきっかけ。「まるでミュージックの奇跡みたいなことが起きた感じでした。今の俺らの現状も含め、いろんなことを象徴した言葉で、12年やってきたけど、お客さん、僕ら、スタッフの間に信頼関係があるというか、何か楽しそうなことをやっているなつて、みんながおもしろがってくれている状況があつて、楽しいライブになる。つて共通の思いが集まっている。それが言葉にしないのに共有できているのも、まさにテレパシーだな」と(芹澤)。実際、この曲にはテレパシーコーナーが「かなり斬新。業界初のテレパシー入りCDだと思います。意識して聴くと確実にわかるのでお聴き逃しなく」と柳下。

そして「Telepathy」を携えた全国ツアーもスタート。この編成を活かしたカッコいい場所を意識しているそう。「前回も住吉神社能楽殿で雰囲気の良い場所でしたけど、今回の九州公演もすくくオシャレな場所だと聞いています(柳下)。「場所だけでも楽しめるよね(又吉)。長崎公演は建築家の隈研吾がデザインした長崎県美術館エントランスロビー、そして福岡

たが……」そういう設定をしたものの、新人キャラに徹するのが全員下手すぎて……今回は、新たな一歩を踏み出す2ndフルアルバム(宮原)、「新人からの脱却です！」(芹澤)とのこと。

「聴いて、アコースティックの響きが良いのだが、バンドならではのエモーショナルは、たまたアト的なのアプローチなど、どこか驚きを含む絶妙なラインをひいてくる。プーバンストリートミュージック、と掲げているが、「前作「II」に、なんとなく山のイメージがあつたので、今度は都会的な感じがいいね」と話をしている「又吉)。「もともと俺らニューヨークのジャズとか都会的な音も好きで、強い要素として、ベースにあるけど、アトワークや野外フェスのイメージが強くて、俺らのそういう側面にも注目してほしいかな(芹澤)。

アコースティックの音ながら、ジャズやミナルミュージックなど洗練された印象が残るいいライン。サウンド面では細かいところまでブラッシュアップされ、バスドラなど楽器も変えるなど、工夫を凝らす。「CDには現れていませんけど、楽器が軽くなっています。持ち運びが楽になるように楽器もカスタムされています」(宮原)。「ジプシーの人たちって、自分の生活の中になにかに楽器を取り入れられるかが楽器上達のコツだと言われんですけど、食事中にも楽器を弾いたりする工夫がされていたりするんですよ。「見、楽器が軽いか手軽だという話って笑い話にも聞こえるけど、めちゃくちゃ大事なことです(芹澤)。

「STEADY」WOLFのミニッツクビデオは、チエ共和国の首都ブラハにて撮影。おかげさまで、潤沢な資金がなくても、楽器を全部持っていくって、海外で撮影できることを証明で

公演は電気ビルみらいホールとなりキャバも拡大。「ライブの制作担当がもつと入ると思つて色出ししましたかね(笑)」(宮原)。「天ぶらのひらおが移転したので、お間違えのないように。そこを踏まえてライブにお越し下さい！」(芹澤)。



SPECIAL OTHERS ACOUSTIC  
スペシャルアコースティック

芹澤「REMI」優真(Key)、宮原「TOYIN」良太(Dr)、又吉「SEGUN」優也(Ba)、柳下「DAYO」武史(Gt)。「95年、高校の同級生で結成し、ロックシーンやポップス、アイドルシーンに切り込むなど、インストバンドとして独自のキャリアを築き、日本武道館での単独ライブも成功させたSPECIAL OTHERSのアコースティックプロジェクト。'14年10月デビュー・アルバム『LIGHT』をリリースし、全国ツアーを実施。全国各地の音楽フェスなどでも活躍中。  
<http://www.specialothers.com/>



New Album  
**Telepathy**

5.16 ON SALE

SPEEDSTAR RECORDS  
初回限定盤(CD+DVD) ¥3,780 (tax in)  
通常盤(CD) ¥3,024 (tax in)

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 01. WOLF         | 06. Birdie    |
| 02. Wayfarer     | 07. ローゼン      |
| 03. STEADY       | 08. CP        |
| 04. IDOL         | 09. Mirage    |
| 05. My Home Town | 10. Telepathy |



# SA

これぞSA!  
バンドが憧れ導かれた《光》を体現する新作完成。

取材 / 文：山崎聡美

「勇気とは窮地に陥ったときに  
みせる気品のことだ」——ヘミング  
ウェイの名言を冠し、10thアルバム  
『GRACE UNDER PRESSURE』を  
リリースしたSA。「言葉の意味合  
いや響きがいいな」と、いまあ  
窮地といえは窮地——現在の音楽  
シーンにおける立ち位置とかこれ  
から立ち向かっていく年齢的な問  
題とか考えれば——だろっし(笑)。  
全部ひっくるめて「タイトル」とは  
TAISEIの弁だが、実際それまでも幾  
度も窮地をパンクロックのアテ  
イテュードを貫き脱してきたSA  
が、その真骨頂を「過去の作品やフ  
ァンに阿った結果じゃなく攻めの  
姿勢で作った」アルバムに、これ  
ほど相応しい冠はないだろう。

「今回はレコーディング終わった  
あとへトヘトだった。曲作りから  
プリプロ、録音までのすごい集  
中したから。ただ今回は、プリプ  
ロの時点で曲も歌詞もほとんど出  
来てて、なかなかスッと書けたん  
だよ。前作『MAON』のSAに「こ  
ても俺にこれでもすく挑戰的な、  
実験的なアルバムをやり切ったか  
ら、今回はもう強くて、ある意味  
ストレートで、これをSAみたいな  
ヤツやってみて」(先)シングル  
(『MY ONLY LOVELY WAR』)の時  
からやって、SAが元々持つてる  
反骨とか怒りとか：覚悟とか、そ  
ういうものを自分自身に突きつ  
なから書いてるうちに、スッと  
実験的な意欲作を経ての『SA』  
らしさはクールで粋で強靱で、か  
つ寛容だ。収録全12曲に、時代や体  
制への反骨精神の傍ら、日と日を直撃  
に生きる誰かの心を導く光と背を  
支えるエナジーが充ちている。

「あ、ミュージシャン、バンドつ  
てこういうことだ、って。それ  
こそ14歳の方が、ロックだバン  
クだって憧れて始めた時に見た光  
が、この歳になってホント、やっ  
と見えな」

全国16箇所を回るツアーにつ  
いてもアルバム全曲やります。もう  
曲が身体に入り込んで  
るし、まして終盤で来  
る福岡はすごいラ  
イヴになると思う」と  
頼もしい。をいっ期待!



## SA (エスエー)

TAISEI (Vo.)、NAOKI (Gt.)、KEN (Ba.)、SHOHEI (Dr.)、'84年結成、'02年より現メンバーで活動。通算10枚目のアルバム『GRACE UNDER PRESSURE』にはバンドのダイナミズムをそのままパッケージ化した『KEEP THE FLAG FLYING』。シンプルなメロディと勇ましいコーラスワークが深き熱い『赤い光の中へ』、『剃刀みたいな切れ味の、俺らがガキの頃から慣れ親しんだジャパニーズ・パンク』を体現する『MORE MORE MORE』、TAISEIの歌の原風景に「歌い手としてのキャパシティーをどこまで広げられるかの挑戦」を懸けた『咲えたい雨』等全12曲を収録。  
<http://sa-web.jp/>

**LIVE!** GRACE UNDER PRESSURE TOUR 2018  
詳しくは「BEA-NET」をご覧ください。  
6.3(日) 福岡Queblick



写真プレゼント。応募方法はP.11を参照!

# 石崎ひゅーい

ピリオドの、その先へ。  
第二章へ突入するひゅーいの新たな一歩。

取材 / 文：山崎聡美

森山直太郎、尾崎世界観、大泉洋、菅田将輝といった錚々たるミュージシャンや俳優陣に絶賛される異才のSSW・石崎ひゅーい。デビューから5年半を経て今年3月、ベスト盤『Huwie Best』をリリース。代々木公園での発売記念フリーライブ、代々木公園で集結した。彼の歌の何かが人を惹きつけるのか。その答えは正に本作に収録された楽曲たちが教えてくれる。

「選曲はファン投票という形にさせてもらったんですが、意外でした。ここまで分かり易くなるのは…みんな、石崎ひゅーいを知らない人に石崎ひゅーいをどう伝えたいの、だろっつて、一周、二周ぐらい廻って考えてくれたんだなと思えましたね。空気を跳んでる！」(笑)

アルバム冒頭を飾るのはデビュー曲「第三惑星交響曲」。当時の情景を、彼は今どう捉えているのだろうか。

「『第三惑星交響曲』がなかったら、たぶん、デビューできてないんです。事務所やレコード会社との話でデビュー曲はこの曲でいくって決まったんですが、その瞬間に…この曲はウチの母親の通夜と葬式の二日間のことをただ描いた、母への手紙みたいな曲で、こんなパーソナルなもので俺は世の中に出てっていいんだって、難しく考えていたことを全部取っ払ってもらったという。自由に曲を、歌詞を描いて放出するってことをしていいんだって喜びがすごいあったんですよ」

ごくパーソナルな感情や心象風景が認められ共有されたことで表現の自由を知り、そこに真の石崎ひゅーいの歌は始まった。以降「産みの苦しみにあって一切なかった」くらい、母から授かった音楽や芸術の素養、思想を沁み渡らせていた心身が溢れるままにエモーショナルな歌が産まれていく。それは石崎ひゅーいが



New Best Album  
Huwie Best  
EPIC Records Japan / NOW ON SALE

「生きてきた記録そのままの歌だ。そして、今作には新曲『ピリオド』も収録された。猪突猛進で5年半、アウトプットを続けてきたが「最近になって、何にも出てこなくなってる。枯渇してるし、以前の自分の表現に固執してたくもない。そんな自分に踏ん切りつけた」というような思いがあって、この『ピリオド』を作ったんですけど、すごく大変でした(苦笑)。いろいろ細かいところまで、今までの自分だったら選択しないだろうという方に感服的に飛び込んでいきながら描いてみて、結果、周囲の反応が良くって制作チームも盛り上がってくれて、嬉しかったですね。自分がソングライターで新しいフェーズに行こうとしてる感じが、間違っていないんだなって思えて。だから、『ピリオド』と言いつつ、『ピリオドの先』を見てみるものになったんじゃないか、と」

今作を携え全国26箇所での弾き語りツアーも始まる。九州は3箇所にて。

「熊本と鹿児島は13年行って以来で、福岡のROOMSもデビューの頃にバンドで行って以来。今回は一人でいきます。弾き語りなので、その時々々の感じに正直に演りたいですね。あとは各地の居酒屋、酒とメシが楽しみ(笑)」

——第二章突入への第一歩、どうぞお見逃しなく。

**LIVE!** 石崎ひゅーい 弾き語りワンマンTOUR 2018「ピリオド」  
7.5(木) 鹿児島Live HEAVEN  
7.7(土) 熊本べいあのPLUS  
7.8(日) 福岡ROOMS  
詳しくは「BEA-NET」をご覧ください。

石崎ひゅーい(イシザキヒューイ)  
'84年3月7日生まれ、茨城県出身。母親よりD.ボウイ譲りの名と音楽・芸術の素養を与えられ、中学3年の頃から音楽制作を始める。'12年7月、ミニ・アルバム『第三惑星交響曲』でデビュー、翌'13年7月に1stアルバム『独立前夜』をリリース。数々のタイアップや大型フェス出演、舞台や映画への出演披露、菅田将輝への楽曲提供など話題に事欠かない多才さを見せている。最新オリジナル・アルバムは'16年発表の『アタラシモトオカラス』。今年3月、初のベスト・アルバム『Huwie Best』をリリース。ファン投票によって選ばれた代表曲14曲に新曲、新録アコースティックヴァージョンを加えた全17曲を収録。  
<http://www.ishizakihuwie.com/>



メジャー1stアルバムリリース決定!

New Single  
ワタシフルデイズ  
EPIC Records Japan  
NOW ON SALE

New Album  
POP is YOURS  
EPIC Records Japan  
6.6 ON SALE

# クアイフ

曲はやがてリスナーのものになる。  
だから届け方が重要なんです。

取材 / 文：里中暁

名古屋のインディーズシーンで5年の活動を経て、昨年メジャーデビューを果たしたクアイフ。ピアノ・ボーカル・ドラマティックなポップバラッド『愛を教えてくれた君へ』でデビューした当初から、バンドがするべきことが明確に見えていたという3人は、第2弾シングルにボジティブ全開のアップチューン『ワタシフルデイズ』を完成させた。前を向いて突進進む決意表明とも取れるナンバーは、フロントマンの森彩乃が書き上げた。『フロントマンとしての曲のテーマに、自分自身の反応するが、引き出されることが多いです(森)。リーダーの内田旭彦は、「嫌いなものを、嫌い」と言い切る強さが彼女の魅力」と言い切り、リズムの主軸を担うドラムの三輪幸宏は、「ぶだんの森は感情の起伏が激しい」と苦笑い。「でも昔より歌詞に目をつけて演奏できています。音は柔らくなってきたと思います(三輪)。そんな森の感情がタイトルに表現される歌は、バンドの武器でもある。『ワタシフルデイズ』は多くの人に伝わるよう言葉を広げたいという思いがありますが、森の声は切なさを演出できるシンクスポイスも綺麗なもので、そじゃやない曲作りにも挑戦します(内田)。歌のトーンやキー、テンポは、毎回3人で熟考を重ねるポイント。すべては、曲がリスナーのものになる、というスタンスから、「音楽を届ける側」にいる以上、最終的に受け手が良いと思わなければ、それは良くない。だから届け方は重要、でもいくら曲調が変わっても、おのずとクアイフだと言える作品かできるメンバーでもあるのだから、次のアルバムは振り幅が広いながらも1本の芯が通った、すべし作品かできる予感があります(内田)。「好きな音楽も三者三様だから色々な音楽ができるし、音楽に興味がない人にも届けられる作品を作ることができると思っています。届け方を悩むけど、リスナー目線で曲作りをしていきたい(森)。結成して6年、応援してくれた人を大切にできた過程で、自然とリスナーありきのスタンスが出来上がった。感謝を込めた『ワタシフルデイズ』は、説得力がハンパないわね」。

**LIVE!** クアイフ Tour "LIVE is YOURS"  
詳しくは「BEA-NET」をご覧ください。  
6.30(土) 福岡graf  
w/ 東京カランコロン

クアイフ  
三輪幸宏 (Dr.)、森彩乃 (Vo.Key.)、内田旭彦 (Ba.Chg.Prog.)、'12年3月、音大クラシックピアノ科出身で数々のピアノコンクール受賞歴のある森彩乃を中心に、名古屋で結成。'14年に1st Album『クアイフ』、'15年に1st Mini Album『organism』をリリースし、インディーズウィークリーチャート上位にランクイン。'16年には、名古屋グランパスオフィシャルサポートソングに『Don't Stop The Music』が起用され、2nd Mini Album『Life is Wonderful』を掲げた東名ワンマンライブをSOLD OUTさせる。同年、1st EP『snow traveler』でUSEN HITインディーズチャートウィークリー1位を獲得。注目度が上昇する中、昨年11月に『愛を教えてくれた君へ』でメジャーデビュー。  
<http://www.quaiif.com/>



# 板野友美

旅の中で見つめた“自分らしさ”とは…。

取材/文: なかしまさお

ソロ・デビューから丸7年。今年2月に最新写真集『Wanderer』と最新シングル『Just as I am』をリリースした板野友美。共通のコンセプトとして掲げているのは“自分らしさ”。“より”素に近い状態の板野友美、表面的な私ではなく、もっと“内面”にフォーカスをあてた作品になればと思って”取り組んだ作品となっている。そもそも、自分らしさって一体なんなんだろう？。そう考えた時に、自分でもよく分かっていないなと思った。それ、それで、自分の居心地の良い場所を、よりプライベートに近い形で旅をして、その“時間”と“表情”を追いかけて頂く。そうすれば、自分でも気付かなかった”板野友美らしさ”が見えてくるんじゃないかと思って”まずは写真集の撮影に挑んだのだと言う。ロケ地となったのはアメリカ・ロサンゼルス。

板野にとっては「AKBを卒業した後、初めて旅行に行った思い出の場所。気候も良く、居るだけで癒されるような気持ちになる」とのこと。楽曲のMVも同地で撮影されている。また、その旅の過程で書き綴った”自分への手紙”。国民的アイドル・AKB48のメンバーとして夢中で駆け抜けた10代。そして今「等身大の、26歳の女性として思うこと」を様々な書き連ね、そこから拾い上げた言葉や想いが、今度は『Just as I am』の歌詞に色濃く投影されたと言っている。例えば「人生の岐路に立った時、どうやってその選択をして来たのか？またしていくのか？。そういう一人の女性としての迷いや葛藤、弱さも強さも含んだ歌詞は板野自身の内面をも強く浮かび上がらせ、多くのファンとの共感を呼んだ。「多分、これからはもう、そっぴつ（選択をする）場

面が増えると思うんですけどね。でも、そういう時に、間違いでないかなって。ってこれからの自分にも、自信をもって言いたいなと思う。特に2番の歌詞には、先の見えない景色を不安がるのではなく、だからこそ、ワクワクする素敵な未来を想像して、幸せを自分で手繰り寄せたいじゃないかな。そう思う。そういうポジティブな想いを強く込めました。現在は彼女自身にとっても初めてとなる。生バンド編成”による全国ツアーの真っ最中。ソロ・デビュー以来ずっとやりたかったこの一ツなで本当に嬉しいです！それこそ、ツアー自体も2年振りなんですけど、福岡でやるのは4年振り?!。そう考えると、私もその頃とは全然変わったと思うし、とモチベーションのイメージのまま終わってほしくないのだから、是非、この機会に”新しい私”を観に来

て頂けたらと思います。それに今回はバンドなので、ダンスパフォーマンスはしないんですけど、これまでの楽曲とかも振り回ってダンス・ナンバーもセットリストに盛り込みます。ただ、なるべく原曲のアレンジは崩さないように。でも、迫力ある生演奏で、私の歌と一緒に感動をお届け出来たらいいなと思いますので、皆さん是非、ライブ会場にご来場下さい！。



写真プレゼント、応募方法はP.11をチェック!



New Single  
Just as I am  
キングレコード  
NOW ON SALE

写真集  
Wanderer  
NOW ON SALE

**LIVE!** 詳しくは「BEA-NET」をご覧ください。  
板野友美 LIVE TOUR 2018  
～Just as I am～  
5.6(日)  
FUKUOKA BEAT STATION

板野友美(イタノトモミ)  
'91年7月3日生まれ。神奈川県出身。'05年12月よりAKB48の1期生として活動開始。中心メンバーの1人として人気を博し、'11年1月にはシングル『Dear J』にてソロ・デビュー。現在までにシングル10枚、アルバム2枚をリリースしている。また、'13年8月のAKB48卒業以降は、女優活動に幅を広げる、などマルチな才能を発揮。その表現域をさらに広げつつ”自分だけのストーリー”を紡ぎ続けている。  
http://tomomitano.jp/

# 森恵

自分の中で吸収してきた最高の音楽を届けます。

取材/文: 前田亜礼



New Album  
1985  
cutting edge  
4.25 ON SALE

**LIVE!** 詳しくは「BEA-NET」をご覧ください。  
森恵 FOLK ROCK LIVE TOUR 2018"ROCK LIVE"  
6.2(土) 福岡イムズホール  
HIKIGATARI LIVE TOUR 2018 Final"FOLK LIVE"  
10.13(土) 沖縄TopNote

5.22(火) 福岡 ヤフオク!ドーム  
福岡ソフトバンクホークス VS 埼玉西武ライオンズ  
18:00からの試合開始前に、森恵による国歌独唱が決定!



「フォーク」で「ロック」・「ソウルフード」に近い作り方で、2年の歳月をかけて制作した、シンガー・ソングライター、森恵の初のセルフ・プロデュース作が完成。生まれながらの「1985」をタイトルに、溢れ出る才能やキャリアを感じさせるアルバムで「コケゲン」な3rdアルバムはある種、脱皮”作とも言えそう。

「これまでソングの方と一緒に楽しめる曲作りを行ってきた中で、ロック・テイストの楽曲が増えたりして、改めて見つめ直した時に、80年代の曲の感じを自然と取り入れてたんだって気付いて、だったら自分の中で吸収してきた音楽を今作で届けようと思ったんです」

聴きどころの1つとしてさらに面白いのは、斎藤誠、小倉博和、村田陽一という豪華なゲスト・ミュージシャンとコラボした楽曲に、隠された名曲へのオマージュがある。『イントロを出すなら』“確信犯”はある日本のドラマ、『愛のかたち』は80年代の洋楽です。ぜひ考えてみてください！

運身の作品とともに、レコーディング・メンバーと初めて行うという今回のツアー。福岡ライブは6月2日!「福岡はちょっとリシャイナの方がイメージですが、アルバムを聴いてイメージを高めるので、ライブではメンバーと私たちのサウンドをガンガン届けるので、食いついてきてもらえると嬉しいですよ(笑)」

森恵(モリメグミ)  
広島島出身シンガー・ソングライター。15歳からストリート・ライブを始め、'05年12月、広島県民文化センターふくやまにて初のワンマン・コンサートを開催。'07年に、ハワイで行ったストリート・ライブが話題となり、'10年7月、シングル『キミ』でメジャー・デビュー。'14年1月には、アメリカ・アナハイムで行われた世界最大の楽器イベント「the NAMM show(Fender フロア)」にて日本人女性ソロの出演を果たした。  
http://www.multiformatstudio.jp/morimegumi/

# コアラモード.

「ろ過を重ねた洗練感」、「美しく爽やか」なアルバムができました!  
取材/文: 前田亜礼



New Album  
COALAMODE.2～街風泥棒～  
アリオラ  
5.30 ON SALE

**LIVE!** 詳しくは「BEA-NET」をご覧ください。  
THIS IS COALAMODE.!!2018  
～街風泥棒ツアー～  
6.23(土)  
福岡Early Believers

コアラモード.  
神奈川県横浜市出身、あんにゅ(Vo,Gt)、小幡康裕(Key,Gt,Ba,Dr,Programming)の男女ユニットとして、'13年に結成。'15年にメジャー・デビュー。温もりで満たした芯のある歌声とバラエティに富んだサウンドが評価され、CMやアニメのテーマ・ソング、NHK「みんなのうた」などに多数起用される。また、小幡は他アーティストの楽曲プロデューサーやアレンジ、舞台音楽も手がけている。6thシングル『花鳥風月』のMV撮影と、アルバム用の撮影は、あんにゅが好きな、チェコアニメや絵本で知られるプラハにて行われた。  
http://www.coalamode.net/



今年もパワーアップして開催!  
3度目となる阿蘇ロックフェスティバル。



**出演者**  
泉谷しげる with BAND / クリーブハイブ  
清水ミチコ / スチャダラパー / SPYAIR  
電気グルーヴ / でんぱ組.inc / BLUE ENCOUNT  
斎藤工 / 古賀小由実・豪起 (cinema birds)  
DJ LEGEND オブ伝説 a.k.a. サイプレス上野



**2018.5.26 SAT**  
熊本県野外劇場アスペクタ

開場 9:00 / 開演 11:00

TICKET NOW ON SALE!

L-code 81639 / P-code 112-958 / e+ eplus.jp

http://aso-rockfes.com/

BEA公式アカウントも要check!

Twitter @beafx  
Facebook @BigEarAnts



文: なかしまさお

## ある偏愛の、彼方から。

メインストリームからアンダーグラウンドまで、各種メディアや実際の街を巡遊する中で見つけた、さまざまな「偏愛」対象を紹介します。

30 殺し屋の街、福岡?!

なかしまさお // copywriter/music relator/green consumer.  
音楽モノを中心に「聞く、書く、そして考える術」を担っています。TRI4THは5/23にカヴァーアルバム『Hybrid ROOTS』をリリース予定。直後の6/17(日)には福岡のvoodoo loungeでのライブも決定していますので、ダイレクトに聞けるJAZZを休めたい方はもちろんにも是非!

一見、平和に見える福岡の街。でも…実際には人口の3%が殺し屋で、中には「殺し屋専門の殺し屋」まで居るといって、日常的に犯罪が蔓延する街だった。…って、いやいやいや、勘弁してよ。いくらなんでも、その設定は街のイメージ・ダウンになりかねんし。そもそも、タイトル自体が笑いを獲りにいってるのか、真剣なのか分からんよね? なんかに似たような名前のバンドも昔あったし…と、書籍刊行当初から、地元民の間では賛否両論巻き起こっていた(?) 小説『博多豚骨ラーメンズ』(原作/木崎あき)。満を持してのTVアニメ化。福岡では今年の1月~4月の頭まで、TVQにて水曜深夜にオンエアされておりました

が、皆さん、もちのろんで、観てましたよね?…ね!? ……ね!?…? 観てなかった方は先週、DVDの第1巻が発売されたばかりです。是非、観てみて下さい。見れば、賛否両論の“否”なんて一気に消滅。街のイメージ・ダウンどころか、地元民も納得の、丁寧かつ矛盾のない背景描写に感動すること請け合いです(もちろん聖地巡礼のファンも続々)。直球すぎるタイトルもなんだかんだで親しみやすいし、主人公たちが作ってる野球チームの名前にもなっているの、彼らの絆、信頼関係みたいな部分を表現するにはうってつけ。是非、野球好きの方にもオススメです! (各話のエピソード・タイトルも毎回、

野球用語。ある回の携帯の着信音、登場人物たちが見ているテレビの野球中継など…小ネタも要チェックです。あと、音楽好きの方にはTRI4TH(トライフォース)の『DIRTY BULLET』が流れるEDシーンをオススメします。クールだけど、熱量感あふれるサウンドとのコラボは、まさにこのアニメの世界観ぴったり。劇伴、構成、演出も含めたノリとしては『カウボーイビバップ』なんかにも近いと思いますので、是非、その辺りが好きな方は観てみて下さい。というわけで、今月の偏愛は殺し屋…じゃなくて、博多豚骨ラーメンズでした。では、また来月!

## 今月の○○!!

	編集部K	編集部M	編集部E	BEAスタッフH
「オススメ! 食べテク」	「オリーブオイル×塩」 野菜や豆腐、食パンにも、万能な組み合わせ。手軽なのでもさらに良い!	「オーマイバスタソース」 の高級味に納豆をトッピング ネバネバ+ごま油の風味があとをひく旨さ!	「なんにでもボン酢」 刺身、揚げ物、漬物…全部ボン酢で! 最近ではたこ焼きもボン酢が最高でした!	「麺に黒酢」 甘酸っぱいのが大好きです。
「演じたライブ」	「BECK」 野外で見たBECK、自然と泣けてきた。	「シガー+ロス」 音と光のシャワーがただただ美しく…涙。	「ハナレグミ」 昨年11月のLOGOS公演にて、感涙。CIRCLEも楽しめ!	「Nick Cave & The Bad Seeds」 「ベルリン・天使の詩」のワンシーンみたいで感涙!

## 「サイン入り写真」

各1名様



応募方法 / 下記①~⑥をご記入の上、ハガキまたはe-mailにてお送り下さい。(6月1日消印有効)

- ①希望商品 ②住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤年齢 ⑥e-mail
- ⑦BEA CLUBの方は会員番号 ⑧最近行ったコンサート
- ⑨好きなアーティストやライブレポート、その他ご意見・ご感想

## 今月のプレゼント



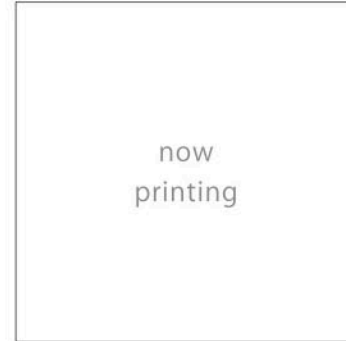
## Mini Album



## FUNKIST x 二人目のジャイアン

はぐれ者達の逆襲のファンファーレが響く響く! FUNKISTと二人目のジャイアンがタッグを組み最強スプリット。目指すはスバリ「チャート1位」。音楽シーンの頂、まさにTOP OF THE WORLDを2バンドがかっさらす! (本誌編集部)

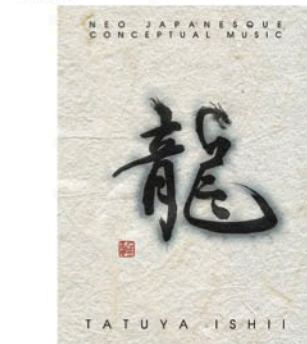
## Album



## テスラは泣かない。

偶然とか運命とか  
クセになるリフ、合わせたくなるコーラス、高揚感と直結したダイナミックなバンド・サウンドが、彼らの「続く未来」をより強く、より確かな光で照らし出している。個人的には甘く哀しいMSの誘惑などもお薦め。できれば全曲聴きまわし(なかしまさお)

## Album



## 石井竜也

石井竜也がこれまで発表してきた「和テイスト」な楽曲をコンプリートした超豪華ベスト盤。過去音源のリメイクや書き下ろしの新曲を含むCD3枚組。全39曲。5/16(水)、17(木)福岡市民会館での公演が迫る! (本誌編集部)

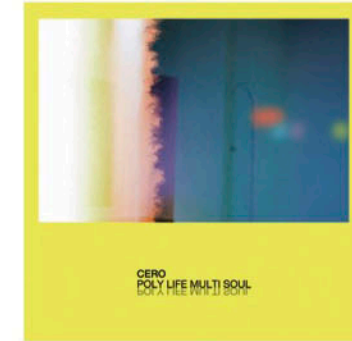
## Album



## Chage

ソロ活動20周年 & 還暦YEARを飾る豪華記念盤。配信含む全ソロ5gに加えて「ふたりの愛ランド」、新曲、アルバム未収録曲、そして「終章」(新録セルフ・カヴァー)まで! その音の道に残した軌がくっきりと浮かび上がる一枚。(なかしまさお)

## Album



## cero

あらゆる音楽を昇華させたリズムの追求、ビートが体感できる4作目にして至極のポップネス・アルバム。甘美なコーラスワークが映える「弾丸の花」ほか、アーバンでメロウ、エクスプレメンタルな12曲。今月はCIRCLE '18出演ツアーも! (前田雄礼)

## Digital & LP



## サニーデイ・サービス

曽我部恵一曰く、当初のテーマは「サニーデイの破壊」。マッドなソウル・ナンバーやサニーデイらしい青いロックが混在する異質なニュー・アルバム。ceroの高城晶平、SIMI LABのMARIAMも加わり描く混沌、その世界の先には…。(前田雄礼)

## Album



## Ryu Matsuyama

ソロっぽい名義だがピアノ&ベース&ドラムから成るトリオのメジャー・デビュー。盤、通算で4作目。クラシックやジャズをも取り込むコンテンポラリーかつモダンな楽曲と旋律美が光る。音の生命力に満ちた1枚。(山崎彰美)

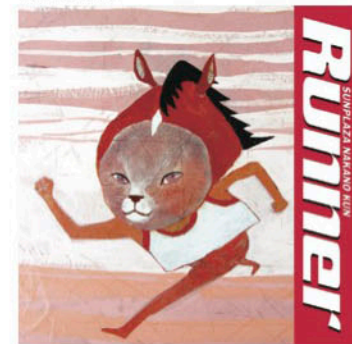
## Album



## 前野健太

Eテレ「オドモTV」での岩井秀人、森山未來との「オドモのたり」にどハマリ中の方々へ、これが音楽家マエケンの本領です。4年半の新作、大傑作。痺れて泣いて踊っている。懐かしいのに新しい名歌謡誕生。(山崎彰美)

## Mini Album



## サンブラザ中野くん

“平成”を駆け抜けた、全国民の応援歌! リリース30周年を迎える爆風スランパの「Runner」が、今新たな時代を走り始める! オリジナルの持つ疾走感・高揚感はそのままだに、'18年ならではの空気感をプラスした全曲完全新録音源! (本誌編集部)

**福岡ソフトバンクホークス**  
5・6・7月 公式戦

**チケット好評発売中!**

5月 May: 4日 vs オリックス, 5日 vs オリックス, 6日 vs 北九州レガions, 11日 vs 北九州レガions

6月 June: 1日 vs 横浜DeNA, 2日 vs 横浜DeNA, 3日 vs 巨人, 12日 vs 巨人

7月 July: 1日 vs 千葉ロッテ

**サイパのA**  
声優トークショーチケット

大人気アニメとのコラボレーション企画!  
出演声優によるトークショーを開催!!

対象日程 5/26(土)・27(日) vs 楽天イーグルス

A指定席 引換券1枚 (通常4,500円) + 声優トークショー 入場券1枚 **4,800円**

お買い合わせ  
TEL.092-847-1006 営業時間 10:00~18:00

※ホークス主催ヤフオクドームナイトゲーム開催日は20:00まで  
※上記のお問合せ番号からはチケットの購入は出来ません。